

各日共通

大学の概要、入試の概要、資格取得情報、就職情報・支援等についてご案内いたします。進学に関する情報・質問等は入試情報のご説明時や個別相談にて本学教職員により、対応いたします。お気軽にお声かけください。

8/4(日)・5(月)

要申込み

定員なし

体験学習なしコース
11:00~12:00

大学の概要、入試情報のほか、個別相談もあります。



8/4・5のお昼(学食)でしか味わえません!

定員210名

体験学習ありコース
11:00~16:30



基礎看護学の体験演習の様子

実際の大学の講義、演習を体験できるほか、在学生との懇談など充実したコースになっています。

8/19(月)

要申込み

定員なし

13:30~16:00

短時間で大学の概要、入試情報を知りたい人にはうってつけです。

「看護師として活躍の場と業務の拡大」の特別講義を行います!



※申込み方法は大学ホームページをご覧ください

11/3(日)

申込み不要・入退室自由

10:00~14:00

高校生の方やそうでない方も、まずは看護大学にお越しください!!

楽しく校内を散策できるスタンプラリーを開催します。

桜蓮祭
同時開催

新時代
令和に
羽ばたく

- P2 新入生を迎えて
- P3 P4 新任教員紹介、事務職員紹介
- P5 学生生活アンケート 第4回
看護への思いをひきつぐ継燈式
- P6 研究室訪問
基礎看護学 岩永 喜久子 先生
- P7 令和元年度科学研究費採択課題一覧
東京2020パラリンピック ドイツ選手団を迎えて
看護研究交流センター「いきいきサロン」
- P8 令和元年!
オープンキャンパス情報

3年
自治会長

私が1年生に伝えたいこと

1年生の皆さま、入学から約4か月が過ぎようとしています。いかがお過ごしですか?大学の講義やサークル活動にも少しずつ慣れ、友達も増えたのではないのでしょうか。新生活が始まり、あつという間の時間だったと思います。入学式を終え、新入生オリエンテーションやサークル活動などで先輩からたくさん話を聞き、期待に胸を膨らませて始まった大学生活だと思えます。

これからの4年間は基礎知識を学ぶ時期です。今、学習していることはこれから大切になってきます!大学

生活を送るにつれて、学習面や生活面などでもわからないことや不安に思うことも出てくると思います。そんな時は先生方や先輩、仲間に相談をしてみてください。

新潟県立看護大学は単科大学ですが、その分、「先輩後輩の距離が近く仲がいい」ということを実感している人もいますのではないのでしょうか。仲間と先輩と、ぜひこれから楽しい思い出を作ってください。これから皆さんの大学生活が実り多きものとなりますように。



1年

新生活が始まった感想とこれからの大学生活への期待

大学に入学して早くも3か月が経ちました。入学した当初はわからないことばかりで不安でいっぱいでしたが、優しい雰囲気ですぐに慣れることができました。90分の授業は、長く辛い時間だと思っていました。しかし大学は今までとは違い、自分の好きな分野や、興味のあることについて学ぶことができるのでとても楽しく、苦ではありませんでした。基礎ゼミや看護学概論などでは、グループで行うことがたくさんあり、新しい仲間がたくさんできました。みんなフレンドリーでとても溶け込みやすかったです。

授業後のサークルは、活動に加えて先輩方との交流の場です。私は手話サークルに所属しています。看護の現場でも使える手話を少しずつ学んでいます。細かい指の動きは覚えるのが大変ですが、先生や先輩と学ぶのはとても楽しいです。サークルの先輩方はバイトのことや、勉強方法について教えてくださいなど、とても優しいです。9月にはふれあい実習があります。実際にたくさんの方とふれあい、看護の知識と技術を身に付けたいです。



新入生を迎えて



1年

大学生活の第一歩を踏み出せた学外オリエンテーション

入学してから一週間経った4月12日、13日の二日間、長野県黒姫高原の黒姫ライジングサンホテルで学外オリエンテーションが行われました。といっておもちゃでは授業があり、その後体育館でインディアカというスポーツをしました。チームみんな全力で戦い抜き、私のチームはなんと準優勝することができました。とてもいい汗を流しました。

その後ホテルに移動し各部屋で紙やテープを使った帽子づくりと他己紹介をし、さらに学年で交流を深めました。

二日目は先輩方に来ていただき、学校や一人暮らし、勉強について教えていただきました。本当にたくさんの質問をさせていただきましたが、皆さん快く答えてくださり、これからの学校生活の自信につながりました。

今回の学外オリエンテーションでは、インディアカや帽子づくりで結果こそでしたが協力して何かを達成することにとっても意義があると改めて感じる事ができました。入学したばかりでまだまだ分からないことだらけでしたが、同級生や先輩方とたくさん交流ができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



3年

学外オリエンテーションに参加して

4月に行われた、1年生の学外オリエンテーションに参加させていただき、1年生が不安に思っていること(主に学校生活・1人暮らし・アルバイト)についてアドバイスさせていただきました。3年前に私が大学に入学したばかりの時も、同じような心配をしていたことを思い出しました。

看護師は、様々な知識と的確な技術が必要になります。1・2年次は基本的な知識と技術を学び、3・4年次の演習や実習でそれを活かしながら実践し、少しずつ

キャリアアップしていきます。その過程で、辛くて挫折しそうなことが何度かあると思います。そんな時は、同学年の仲間や先輩、先生に相談してみてください。良いアドバイスが得られると共に、自分だけではないのだということに気づき、「頑張ろう!」という前向きな気持ちにもなれると思います。大変なこともあると思いますが、その分得られるものもたくさんあり、楽しいこともあります。大学生活が楽しかったと思えるような4年間になるよう頑張ってください。応援しています。

新任教員紹介



自然科学領域(生物・医学) 教授 堀江 正男

皆様初めまして。4月1日付けで当学に着任した堀江正男です。私の専門は神経解剖学です。解剖学と言っても、毎日のように生物を「解剖」している、というわけではありません。私は随意運動に関わる神経回路網を調べ、それが不具合を起こした時に発現する異常について解析しています。そのために、遺伝子改変動物などの生物試料を用いて解剖学的実験法を駆使して実験し、その結果を論文などの形で世に発信します。私の希望は自分の研究成果を運動疾患で苦しんでいる患者様の治療に役立てることです。みなさんの希望は何ですか?

私の研究生活は大学院時代の脳の発生研究から始まりました。当時はヒトゲノム解析プロジェクトが同じキャンパス内で進められており、

それに関わる同級生が眩しく見えたこともありましたが、それでも自分の選んだ研究が充実していましたので、その道を貫き、今に至っています。

皆さんは看護を志して、本学に進学して来られたことと思います。学生生活は楽しいことそして辛いこともあると思いますが、自分の選んだ道を信じて、患者様に頼られる素敵な看護師になってください。学業を修めて巣立って行かれる皆さんの姿を見ることが、私が当学に着任して得た新しい希望になりました。

“Hope is beautiful”、私の好きな映画に出てくる言葉です。皆さんの“希望”が叶うよう全力でサポートしていきます。よろしくお願いいたします。



臨床看護学領域(母性・助産看護学) 助教 杉山 泰子

母性・助産看護学の助教として着任いたしました杉山泰子と申します。美しい桜と妙高の雪景色が映える4月、学生の皆様にはもちろん、先生方や事務職員の皆様にあたたかく迎え入れていただいたことに心より感謝いたしております。

私は、三重県で助産師として、大学教員として勤めておりました。助産師で勤務していた時は、妊娠された女性がお母さんになっていく過程を大切にしたいという思いから、助産外来、母子同室、母乳育児支援、家庭訪問などを様々な工夫を凝らしながら取り組んでおりました。仲間と一緒に同じ目的に向かって支援の方法を模索していくという臨床での経験は、専門職者として誇りある経験となり、現在の私を形成し

てくれました。大学教員になってからは、直接的な対象が当然ながら学生へと変わりました。母性看護学・助産学を学ぶ学生には、妊産婦とその家族、生まれてくるいのちに尊ぶ心をもって接してほしいと願っています。そのためには、私が学生のすべてを受け入れ尊重することを大切にしていきます。そして、このことが学生の倫理的な応答力につながればと思っています。

微力ではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、教育、研究、社会貢献に可能な限りの努力をして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



地域生活看護学領域(精神看護学) 助教 船山 健二

はじめまして。4月から精神看護学の助教として、着任いたしました船山健二と申します。よろしくお願いいたします。出身は新潟県村上市です。15年の臨床を経て、本学の教員となりました。はじめは、大学病院で腎移植を含め腎疾患患者さんの病棟に5年間勤務いたしました。大学病院の勤務時には、目で見ることが難しい世界に惹かれ、感染管理にも携わっておりました。次第に目で見ることが難しい世界の対象が、病原微生物から人間の“心”に移り今日に至りました。一番長い臨床の経験は、塀のなかに7年半ひきこもり刑務所の看護に従事しておりました。その影響か、司法領域の看護や薬物依存症の看護に

対する興味・関心を引きずっております。

着任し日が浅いのですが、学生さんが私の拙い講義から何か興味や関心を抱き、感じてもらえた反応があると、教員となった喜びを感じます。また、同時にその責任も感じているところです。大学教員として、微力ながら教育・研究・学務・社会貢献に努めて参る所存であります。学生さんとともに学び、自分自身も成長していきたいと考えております。皆様方からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



地域生活看護学領域(地域看護学) 助教 前川 絵里子

はじめまして。この4月より地域看護学の助教になりました前川絵里子と申します。

私は25年間、新潟県内で保健所保健師として、難病患者家族の方々の在宅療養支援、母国を離れ生活する結核患者の治療継続に向けた保健活動、上越地域の在宅医療介護連携の推進に関する事業などに、地域の医療・介護・保健・福祉の専門職の方々に支えられながら共に取り組んできました。

一方で多発する自然災害、急速な高齢化などを背景に地域保健を取り巻く状況は近年大きく変化しており、多岐に渡る制度の理解と研究的視点、保健師活動の可視化・言語化の必要性、そのための自ら

の学びの必要性を強く感じるに至り、平成27年度より当大学院修士課程で学びました。

当大学は看護職の育成、看護の質向上への貢献という役割とともに、その役割遂行の結果として上越地域への新たな若者の流入・定着につながる重要な場であると感じます。4月から出会う学生はどれも将来、患者家族に寄り添える看護職になるであろう、有望な学生ばかりです。私自身は教職員の皆様よりご指導をいただきながら、当大学の教育活動に寄与できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



基礎看護学領域(基礎看護学) 助手 上坂 唯子

4月から基礎看護学領域の助手として着任いたしました上坂唯子と申します。私の出身は富山県ですが、本学の8期生として卒業し、卒業後は新潟県立中央病院で6年間勤務しておりました。隣の建物に勤務していたこともあり、本学は私にとって常に身近な存在であり、縁があって母校に戻ってくることができ、大変嬉しく思っております。

臨床では循環器内科や呼吸器科などの病棟で勤務経験があります。また、臨床実習指導者として本大学の学部生の実習指導にも関わらせていただきました。看護師としてもまだ成長すべきところもありま

すが、臨床からの視点だけでなく、また別の角度から学生指導に関わってみたいという思いから大学へ来ることを決めました。

大学では、これまでとは一転した生活に戸惑いながらも、学生たちから投げかけられる様々な疑問や、臨床への興味を語るキラキラした目に刺激をもらい、楽しく仕事をさせていただいています。これまでの臨床経験を活かしつつ、適切な指導ができるよう自己研鑽に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新任教員紹介



臨床看護学領域(小児看護学) 助手 小林 宏至

はじめまして。この4月より小児看護学の助手となりました小林宏至と申します。私は本学の1期生として卒業しました。卒業後は3年目になる年に新潟大学医歯学総合病院に転職し、NICU(新生児集中治療室)に配属されました。以降、前職である長岡赤十字病院NICUを経て、計11年間をNICUで過ごしました。

男性看護師でNICU?と感じる方も多くいらっしゃると思いますが、最近の新生児看護学会では多くの男性看護師の活躍を見ることが出来ます。私にはこの11年間のNICU勤務の中で同僚の男性看護師はいませんでした。全く苦とは思いませんでした。それは純粋に学び、赤ちゃんと家族にとってのより良いケアを目指していたからです。もち

ろん授乳やカンガルーケアの場面は入れないので、同僚の看護師に依頼をしました。その代わり、他できることは何でもする、という気持ちでいました。それもあってかよく、「男子なの忘れてた」といった具合に、溶け込むことができていました。

新生児領域の臨床看護研究を通じて、より良いケアを提供する為にさらに学習、研究をしたいと考え、本学小児看護学の助手として入職しました。大学教員はもちろん、研究活動も初めてで、不慣れな点もありますが、教職員の皆様よりご指導を頂きながら、日々努力していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

事務職員紹介



事務局長 市川 克巳

はじめまして。4月1日付けで事務局長に着任しました。これまで県職員として30年以上勤務してきましたが、大学関係の仕事は初めてです。学生の皆さんや教員の皆さんと身近に接する環境はとても新鮮です。すべての教職員と学生が協力し合いながら、より学びやすい大学の環境を作っていく。そのお役に立てればと思っています。

上越は、私が生まれ高校を卒業するまで過ごした故郷で、この地での生活はそれ以来です。妙高山や火打山の美しい姿を望むことのできるすばらしい環境の中での生活を楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



教務学生課長 吉澤 恵二

はじめまして。4月1日付けで教務学生課長に着任しました。私はこれまで土木や農林業の許認可や用地取得、商業振興施策の審査、県税の賦課徴収、病院事務などの業務を担当してきましたが、大学をはじめ学校関係は初めての業務になります。

見るもの聞くものすべて初めてのことばかりで戸惑うばかりの毎日ですが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



教務学生課教務係長 森田 裕美

4月に教務学生課教務係に赴任しました。令和という新しい時代に合わせるかのように、私の中でも新しい仕事が始まりました。

大学という職場に勤務するのは初めての経験ですので、大学事務に関する様々な知識に触れ、毎日が新鮮で、そして緊張の連続です。未来を支える看護職になる皆さんの、ささやかなバックアップになればと思います。

まだまだ分からないことだらけで、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



総務課庶務係主事 山崎 明彦

4月から総務課庶務係にてお世話になっております山崎明彦と申します。地元上越市の出身で、金融機関の営業職員として勤務の後、ご縁があり新潟県立看護大学に着任いたしました。新入生のように毎日があっという間に過ぎていく感じがしています。

大学生生活4年間という時間は、私自身もそうであったように人生の中でとても貴重な時間になると思います。学生みなさんがそのような貴重で有意義な時間を安心して送ることができるようお手伝いをさせていただきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



教務学生課教務係 非常勤職員 虎石 和代

4月1日付けで看護研究交流センターの事務職員になりました虎石と申します。

三年間育児に専念しておりましたが、子供の保育園入園を機に仕事復帰を決意し、ご縁があって本学に勤務することとなりました。

私は過去に、医療福祉の学校を卒業しており、現場に勤務していたこともあるため、本学の学生さんの実習姿などを見て、懐かしく感じています。まだ不慣れでご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、皆様の力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



教務学生課教務係 非常勤職員 金井 美穂

はじめまして。4月より教務係に配属となりました。出身は上越市で高校を卒業してから主に公共事業(主に道路工事)に携わる仕事をしていました。今回ご縁があり本学でお世話になる事となりましたが初めての学校事務の業務に慌ただしく、緊張しながら日々を過ごしています。

早く仕事を覚えて微力ではありますが学生の皆さん、教職員の皆さま方のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

学生生活アンケート 第4回

今回のアンケートは趣向を変え、新しい時代「令和」を迎えた目標や希望を書いてもらいました！
一人一人の個性いっぱいの格言(?)をどうぞ!!



1年

入学してまだ間もないですが、これからも人に優しく、常に前向きに!!



2年

令和という新しいこの1年を充実した年にしたい



3年

何度失敗してしまっても、諦めずに努力し続けたい



4年

高校時代に母から送られた言葉です。令和の時代もこの言葉を胸に、自分のペースで、自分を信じて頑張りたい

みんな、協力ありがとうございました!新時代も羽ばたこう!!

看護への思いをひきつぐ 継燈式



継燈式実行委員長

学生が主体となって行う本学の継燈式は、継燈式実行委員会のもとで今年度の3月から活動し始めました。今年もより多くの皆様に私たちの姿を見てもらいたいと思い、土曜日に行うことにしました。おかげさまで多くの方にご列席いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

継燈式は、2年生全員が主体となり作り上げた式だと考えております。私たち自身で継燈式をやることを決意し、式中の曲や当日身に着けるコサージュ、灯の受け渡し方、歩き

方等の動きに至るまで、すべて2年生ひとりひとりの意見を取り入れて決めました。その結果、自分たちで式を作り上げ、やり遂げるという決意と責任感を持ってののだと思います。継燈式が近づくと、講義の合間を縫いながら式の流れの確認と練習を行い、徐々に継燈式に対する意識を高



めていきました。2年生全員が積極的に行動してくれたおかげで、練習をスムーズに進めることができました。継燈式を通して、顔つきもどこかたくましくなり、ひとりひとりが成長できたのではないかと感じました。

今思い起こすと、私一人では力不足な点が多々あり、同じ学年の仲間をはじめとした先輩、後輩、教職員、来賓の皆様のおかげで継燈式が無事に終えられたことを嬉しく思うとともに感謝申し上げます。また、実行委員長として仲間と共に式をやり遂げたことを大変誇りに思います。

この継燈式は私たちにとって、看護師を目指すための大事な一歩だと考えています。これまでに培ってきた基礎を忘れることなく、気持ちを引き締め、ひとりひとりが目指す理想の看護師になれるようこれからの学習に臨んで参ります。継燈式で誓った決意を胸に刻み、より一層精進いたします。

研究室訪問

基礎看護学 岩永 喜久子先生



Question ▶ 上越市に住んだ感想をお聞かせください

レトロな町並みと名所旧跡があり、自然豊かなところが好きです。雪景色も大好きです。しかし、観る雪と暮らしの中の雪とは違うことを体験しました。雪の期間中は車の運転は怖くてできず、もっぱらタクシーを利用しています。豪雪地帯の暮らしは全てが初体験の域で修業中ですが私なりに楽しみを見つけてながら過ごしています。

この大学にお世話になる前、前任校在職中は前橋に住んでいました。その時、上越妙高駅建設のために廃線になるという「脇野田駅」探訪の自転車の旅番組を見ました。私も行ってみたいと思い電車で来ました。小さな木造の駅で写真が沢山貼ってあり、地域の人達の思い出が詰まった駅だと思いつつながら次の電車が来るまで駅のホームに座って新幹線の工事や景色を眺めていました。まさか上越妙高駅から新幹線に乗ることになるとは、不思議な縁を感じています。新幹線に乗るたびにどこだったかと思いを廻らしては分らずに繰り返しています。旅の一行が走る広い田んぼと山々の景色の映像も忘れられず、上越市に住むようになってから車を走らせ探しました。今でもここかなあと考える所に車を停めて眺めています。

Question ▶ 休日はどのようにお過ごしでしょうか

先程のことと重なる所はありますが、時間を見つけては出かけています。これまで2回ほど長崎から雪国旅に出向き、金沢や能登半島、長野、越後湯沢などで雪を楽しみました。

現在も上越市を拠点に北陸方面や長野方面、関東方面などに出かけています。先日も雪景色が残る山々が迫る雄大な景色を眺めて癒されてきました。また、以前から途絶えていた散歩を再開して、1時間から2時間ほど高田公園周辺や町中を歩いたり、たまに映画を観たりして過ごしています。ゆっくり、のんびり過ごすことも多いです。



Question ▶ 今、ハマっていることは何ですか

今、ハマっていることは、ヨーグルト作りと甘酒作りです。ほっておくと勝手に育ってくださるので、後はお口に入れるだけです。超簡単！甘酒をヨーグルトのトッピングにしたり、パンにつけたり。ヨーグルトも楽しんでます。



Question ▶ 研究内容と学生に期待することを教えてください

今行っている研究は看護専門外来の開発に関する事です。研究について学部や大学院のゼミ生さん達とディスカッションできることは、とても有意義なことと実感しています。

看護分野の発展は今後の皆さんの力に委ねられています。今を大事にしながら、将来的には大学院も視野に入れて学びを深めていただけたらと思います。

令和元年度科学研究費採択課題一覧 >>> 新規採択課題

研究代表者	課題(期間)	研究種目
舟島 なをみ	医療事故防止のための「看護職包括型患者安全教育推進システム」の拡充と普及 (R1~R5年度)	基盤研究 (B)
渡辺 弘之	ベトナムのハンセン病元患者の子どもが持つ「傷つきやすさ」とエンパワーメント支援 (R1~R3年度)	基盤研究 (C)
永吉 雅人	強化学習によるメンバーシップ向上に寄与する共創的ナース・スケジューリングシステム (R1~R3年度)	基盤研究 (C)
高柳 智子	回復期脳卒中患者の病棟生活21時間の移乗を支える生活者目線の看護支援モデルの開発 (R1~R4年度)	基盤研究 (C)
阿部 正子	不妊治療の終結をめぐる夫婦の意思決定支援に有用な看護アセスメントガイドの開発 (R1~R3年度)	基盤研究 (C)

東京2020パラリンピック ドイツ選手団を迎えて



4月14日(日)~23日(火)にドイツパラリンピック柔道チームが上越市で合宿を行いました。本学でも上越市からの依頼を受けて選手との交流会を企画することとなり、ボランティアサークルであるVSPサークル、そして茶道サークルと合唱サークルの有志が中心となり、4月17日(水)に大学レゼプションホールにて交流会を実施しました。交流会では、茶道サークルによるお点前の披露により抹茶と和菓子を召し上がっていただくとともに、合唱サークルによる日本の歌やドイツの歌の合唱、そして選手の皆さんと参加学生全員での質問コーナーが行われました。

参加した学生の感想

4年

選手の皆さんに、目が不自由でも楽しく日本を体感していただき、かつ、親睦を深められるような企画を懸命に考えました。交流会の運営の際はとても緊張し、選手の皆さんに内容を楽しんでいただけているか不安でした。しかし、交流会後の記念撮影の時間には、ホールのあちこちで談笑する学生と選手の輪ができ、和やかな雰囲気での交流会を終えることができました。帰りの選手の皆さんの笑顔から、交流会を楽しんでいただけたことを実感でき、とても嬉しかったです。

今回の交流会を通し、東京2020がもう間近に迫っていると感じました。微力ではありますが、いち看護学生として、思いがけず東京2020を盛り上げるためのお手伝いできて光栄でした。



「いきいきサロン」は、健康に関心のある地域のみなさまと、医療・看護の専門家との交流の場として開催しています。地域のホームドクターや本学教員が健康でいきいき生活するための知識をお話しします。お茶を飲みながら語らい、豊かな時間をすごしませんか？みなさまのご参加お待ちしております。

日時	テーマ	講師
9月19日 ㊦ 18:30~19:30	がんと「緩和ケア」~からだどこころの痛みを和らげるケア~	新潟県立看護大学 成人看護学 准教授 酒井 禎子
10月17日 ㊦ 18:30~19:30	高齢者のうつ予防と家族の対応	新潟県立看護大学 副学長 精神看護学 教授 長谷川 雅美
11月14日 ㊦ 18:30~19:30	流行性感染症にかかりたくない	新潟県立柿崎病院 院長 太田 求磨 先生